

第2回佐貫地区保護者説明会会議録

1. 日時 平成29年3月22日（水）19：00開始

2. 会場 佐貫コミュニティセンター

3. 教育部参加者

岡根教育長、能城教育部長、今井学校教育課長、鶴岡教育総務課長、竹谷教育センター所長、須藤学校教育課主幹、鈴木教育センター主幹、三浦学校教育課指導主事、財前教育センター指導主事、大畑教育センター指導主事、刈込教育総務課課長補佐、福原教育総務課主任主事

4. 保護者参加者 37名

5. 会議録

進行：鈴木教育センター主幹

発言者	発言内容
能城部長	1 開会の言葉
	2 出席者紹介
岡根教育長	3 教育委員会あいさつ
能城部長	4 天羽中学校校舎改築について説明 天羽中と富津中の校舎建設の検討につきましては、平成14年度におこなわれ、総合的に判断された中、富津中の改築を優先し実施されることとなり、平成19・20年度で富津中学校の改築がおこなわれました。 そういった中、国は、平成7年1月に発生した阪神淡路大震災を受け、小中学校の耐震補強につきましては、平成20年6月に改正された地震防災対策特別措置法により、学校設置者に耐震診断の実施及び結果公表の義務付けがなされ、全ての小中学校の耐震補強を優先することとなり、天羽中学校の改築は先送りされ、市内小中学校の耐震補強工事は、平成25年度をもって全て完了したところでございます。 その翌年、平成26年度に皆さんもご承知のこととは思いますが、財政破綻報道があり、その後市の経営改革を進める中、平成27年8月に出された中期収支見込に、教育環境の改善が急務であることから、やっと今まで先送りされていた天羽中学校の大規模改修、これは現在の校舎を利用して改修を行うものですが、その予算が計上されたところでございます。 天羽中学校が大規模改修とされた経緯につきましては、平成26年に文部科学省から出されたインフラ長寿命化計画により、これまでの建て替え中心から長寿命化への転換による今ある建物を利用したの改修方針に沿ったものでございます。 そのような経緯から天羽中学校につきましては、当初現在の場所で大規模改修を予定しておりましたが、今年度実施いたしました、耐力度調査の結果、耐力度が基準値に達していない、これは大規模改修に適さない危険な状況と判断されたことから、今回、大規模改修ではなく改築、新しく建

鶴岡課長	<p>て替える計画とされたところでございます。</p> <p>天羽中学校校舎の整備計画（案）について、ご説明申し上げます。</p> <p>天羽中学校校舎の整備については、既存敷地内での建て替え、既存校舎の大規模改修、移転新築について検討いたしました。</p> <p>1つ目は、既存の校舎2棟を解体し、現在の敷地内に新たに適正規模の校舎を建築する計画（案）です。</p> <p>この案では、設計から整備完了までの期間を3年間、概算事業費については、15億円程度と試算しました。</p> <p>2つ目は、既存校舎を大規模改修する計画（案）です。事業期間は3年間、概算事業費を12億円程度と試算しました。</p> <p>3つ目は、新たな場所へ移転し、新築する計画（案）です。</p> <p>この案では、移転先地の選定、用地買収、敷地の造成工事や校舎以外に体育館等の建築も必要になりますので、事業期間は7年以上、事業費は24億円以上と試算しました。移転、新築の場合の事業費については、移転する場所によって用地取得費や必要となる道路等インフラ整備などにより、事業費が更に増加することが予想されます。</p> <p>現在の用地内で校舎を整備する場合、説明会で保護者や地域の方からご指摘、ご要望があった道路や排水を併せて整備する必要があると考えています。</p> <p>3つの整備（案）については、事業期間、概算事業費、生徒の学習環境、建築後の維持管理費など総合的に検討した結果、既存校舎の大規模改修（案）が一番安価となりますが、既存校舎の構造躯体が経年劣化により耐久性が低下しているため、大規模改修する案については、望ましい計画と言えないと評価しました。</p> <p>移転、新築（案）については、移転先の選定や用地買収、造成工事、校舎以外に屋内運動場や武道場などの建築等、事業期間や費用が膨大になること、又、関連するインフラ整備が必要になる可能性もあることなどから、実現性が低く、望ましい計画とは言えないと評価しました。</p> <p>改築計画（案）については、既存校舎の大規模改修計画（案）に比べ概算事業費が3億円程度高くなると予想されますが、大規模改修に比べ、建築後の維持管理費の抑制が見込まれること、多様な学習環境に対応する機能も合わせて整備できることなどから、現在の敷地内で新たに適正規模の校舎を建築する（案）が最も望ましく、実現性の高い計画であると評価しました。</p> <p>改築の場合も国の補助金の活用が見込まれますので、少しでも市の持ち出しが少なくなるような事業メニューを検討していきます。</p> <p>改築（案）を進める場合は、平成29年度に基本・実施設計、地質調査を実施し、平成30年度に既存校舎の解体、平成30年度、31年度に改築工事を実施し、平成31年度末完成を目標とした計画になります。又、道路整備については、早期事業化に向け、進めて参ります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
鈴木主幹	<p>以上で説明が終わりましたが、何か質問やご意見ございますか。</p>
須藤主幹	<p>「アンケート結果及びQ&A」について説明</p>

保護者	6. 質疑 検討委員会はいつ設置するのか。
今井課長	保護者・地区説明会が終了次第（案）を外し、平成29年度の早い時期に設置したい。
保護者	子どもたちへのアンケートは行わないのか。子どもが通学をするので、もし、子どもたちが反対となった場合は検討するのか。
今井課長	義務教育はどの学校で教育を保障するのかは保護者の意見を優先する。
保護者	親の考えがあり、子どもの不安もある。子どもの声も聞いてほしい。
今井課長	制服などについては、検討委員会で協議する際子どもの意見も参考にしたい。また、部活動は中3のときに活動ができなくなることがないように検討していく。
保護者	賛成が多いのでどんどん話が進んでいくのか。反対しているのは、小4、小5の保護者である。
今井課長	今後、様々な意見、状況を踏まえ検討していく。
保護者	（案）が外れる基準、またいつ外れるのか。
今井課長	教育委員に地区の状況等を説明し、教育委員会議において判断してもらう。保護者・地区説明会を行い、出された意見・質問を皆さんに説明していく。
保護者	スクールバスの運転手の健康診断等を行わず、すべて業者任せなのか。
今井課長	健康診断も含め、業者に委託していく。
保護者	入札は実績を考慮するといっているが、安全面の実績は考慮していくのか。
能城部長	安全面も含め、入札の指名審査を行っている。
保護者	アルコールのチェックなどは、バス会社が行っているのか。
能城部長	バス会社がチェックしていると思う。
保護者	抜き打ちのアルコールチェックや健康診断は行わないのか。
能城部長	行う予定はない。
保護者	発注元なのだからチェックしてもよいのでは。例えば登校時にチェックしてもよいのでは。運転手は自宅からバスで来ているのか。
能城部長	バスは指定した場所から発着している。
保護者	今まで事故がないからよいが、チェックをしないで業者任せにしてい

	のか。
能城部長	バス会社に任せているが、今後検討していく。
保護者	やると断言してほしい。不信感につながる。生徒数が少ないから再配置は仕方がないが、安全面への配慮をしてほしい。地域の説明会でも大貫地区、佐貫地区で温度差がある。安全面への配慮は市として行ってほしい。「明日からやります」となれば協力していく。
保護者	佐貫は湊小へはいかないですよ。佐貫に学校を建てればよい。佐貫はどんどん人が減っている。何で佐貫には何も作らないのかが疑問である。この計画は（案）ではなく決まりなのか。佐貫小はなくさないですよ。
岡根教育長	小学校は1クラス3、4人ではなくもっと多い人数で過ごさせたい。中学校2クラスとしたい。これに賛同していただけるのかいけないのかを伺いたい。その上で個別の計画を詰めていきたい。「先が見えないので賛同できない」という声があったので、スクールバスの運行経路の例を出した。皆様の意見を伺うための提案である。具体的な話を今年度出したのは、これ以上子どもたちの数が減ることに危機感を覚えたので、提案した。
保護者	平成32年にすべて行うのか。それとも学校によっては差が出てくるのか。
今井課長	差が出る可能性はある。ずれ込むこともある。
保護者	急な話なので、先延ばししてほしい。
今井課長	教育効果を考えて計画を立てた。先延ばししてほしいという意見もわかる。
保護者	9年間同じクラスの弊害は何か。9年同じクラスだった佐貫中卒業生に問題があるのか、納得がいかない。少人数で教育を受けさせ受験させたい。
保護者	P T A役員で、保護者にアンケートをとった。賛成・反対の2択とし、120人中101人回収した。結果は、賛成62.4%、反対37.6%である。反対意見の主な声は「佐貫が大貫に吸収される感じが強い。どうしても統合が避けられないのなら、両方廃校にして、1から学校を作り、校風や制服なども見直していく」
今井課長	今後の個別計画に反映させていく。大貫中の意見も聞いて、検討委員会で学校名等決めていく。
保護者	大貫中の場所に新しい学校を作るという考えでやってほしい。両方の意見を聞き、話し合っていくのか。
今井課長	話し合っていく。
保護者	現状ではどうなのか。
今井課長	新しい学校として開校式は行う。校名や校章については今後検討していく。

保護者	今のスクールバスの運行委託料はいくらなのか。
今井課長	1,000万円程度で、運転手2人である。
保護者	運転手は高齢である。これも運行会社任せなのか。
保護者	跡地の草刈りはすぐ行うのか。たまり場になってもよくない。閉校記念式典は行うのか。
今井課長	地区の方の話も聞いて、行っていく。
保護者	関豊小と同じように、卒業生名簿を作るのか。
今井課長	検討委員の方と協議していく。
保護者	富津市の成人式は中学校によって態度が違う。佐貫中の子どもに完璧なケアをお願いしたい。
今井課長	大貫中、佐貫中ともに生徒指導上の問題はない。統合しても現状を維持していきたい。
保護者	なぜ、出身校で態度が違うのか。バットをもって走り回ったり、お酒を飲んでいたり、佐貫の子はしていない。写真撮影も最後であった。
今井課長	写真撮影も座る場所もローテーションしている。
保護者	卒業校によって態度が違うのはなぜか。
須藤主幹	中学生のときから、そうだったわけではない。現在はまじめに働いており、目立ちたいという気持ちだと思う。
保護者	もし、引っ越しを考えたとき、統合するとされている地域には引越さない。
保護者	数年前にある市議に聞いたら統合はないと聞いていたが。
今井課長	平成16年に富津市小中学校統廃合検討委員会、18年度に統廃合等庁内検討会議、その後平成19年度に一般市民、学校長、市議会議員を含めた小中学校統廃合検討懇談会を設置した。
保護者	市議が把握していなかったのか。私たちに嘘をついていたのか。賛成多数でなし崩し的に話が進んでいるように感じる。私は2、3か月前に聞いた。地区の皆さんを巻き込んで説得していく覚悟があるのか。なぜ、報告がこんなに急なのか。
今井課長	平成21年に再配置構想を発表し、パブリックコメントを募った。個別の計画の中で、環小と関豊小に時間がかかり平成27年に統合した。再配置構想で1クラスや1学年の規模を示したが、どんどん子どもが減少している。教育環境整備のため、再配置計画により小学校では複式の解消、中学校ではクラス替えを基準として提案した。

保護者	あくまで提案なのか。なぜもっと早く手を打たなかったのか。
保護者	新しい学校になるのか。
今井課長	はい。
保護者	具体案は。
今井課長	制服、ジャージなどは平成29年度中に考え、大貫中、佐貫中でデザインを統一する。
保護者	部活動はどうするのか。
今井課長	中1、中2で行っていた部活動がなくならないようにしていく。しかし、職員数が増えるわけではないので、一定のルールに従ってその後は検討していく。
保護者	スクールバスは土日や長期休業中も運行するのか。
今井課長	部活動などがあるときは運行していく。
保護者	スクールバスは確実に運行するのか。
今井課長	運行する。
保護者	佐貫地区の過疎化が進行するのでは。富津市として対策はあるのか。
能城部長	37ページのQ123にあるように、富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略で取り組んでいる。
保護者	具体的には。引っ越してきた人への補助金や税金を安くするなどか。
能城部長	公共交通の整備計画がある。
保護者	JRの本数が減ったが。
能城部長	市としてJRへ要望書を提出したが、受け入れてもらえなかった。
保護者	複線化はどうなのか。
能城部長	複線化も要望したが、利用者が少なく本数が減った。浅間山にバスターミナルを設置し交通の利便性向上を図る、第3子以降保育料無料化などに取り組んでいる。
保護者	第3子を第2子にできないか。
今井課長	第3子でも先進的な取り組みである。
保護者	観光地の整備は。

能城部長	市としての対策や補助金はある。例えば、佐貫地区にも地域活性のための補助金が出ている。
保護者	住民の参加が必要では。
能城部長	成功例を見ると地域の協力は必要だと考える。
保護者	跡地の利用は、学校関係者以外の声も聞き活用できるのか。
鶴岡課長	地域の実情、声などを伺いながら検討していく。例えば武道場は、地域で活用したり、建物は市として活用していくなどの方法もある。
保護者	道の駅には適さないと思う。以前の佐貫中の場所を活用できればよいが、アピールするポイントがない。
鶴岡課長	佐貫中の活用は、立地条件、交通条件などを考慮して判断していく。社会体育で活用していくことも考えられる。皆様のニーズを聞いていく。
保護者	維持管理はどこがするのか。
鶴岡課長	市の管理となるが、地域の協力も得ていきたい。
保護者	3校のうち、1校でも反対したら廃案になるのか。
今井課長	なることも考えられる。
保護者	ハザードマップ上危険度が高い。その対策は。
今井課長	大貫中やスクールバスの経路は、津波の浸水区域から外れており、安全だと考える。
保護者	ハザードマップの予想が外れたら責任はとるのか。
保護者	大貫中のすぐそばに川があるが大丈夫なのか。想定外のことが起きたらどうするのか。
今井課長	3.11 規模を想定しているので安全だと考えている。
保護者	東京湾が震源で、3.11 なみの津波が起きても大丈夫なのか。
今井課長	3.11 規模を想定している。
保護者	遠距離の通学となるので心配である。Q & Aに通学時に事故が起きたら保険で対応すると書いてあるのを見て不安に思ったが。
須藤主幹	通学時の事故について保険対応ができるかの質問であったため、そのような記述となっている。
保護者	約束を遵守してほしい。意見が通らないと真摯な対応と思わない。例え

	<p>ば今の話では、本当に安全な佐貫へ大貫が通えばよい。条件ありきの賛成がアンケートでは多かった。4割の反対者も条件を整えば賛成する。保護者の意見をどう聞いてもらえるかによる。何があるかわからないのであれば私立に行くことも考えてよいのでは。例えば、大佐和中で不安の中で過ごすより、私立の安全なところへ行っただ方がよい。</p>
今井課長	<p>安全対策については、避難の方法も含めた危機管理マニュアルを作成していく。</p>
保護者	<p>安全に配慮した対応、回答をお願いしたい。</p>
保護者	<p>納得できる対応がない場合、(案)が外れてからの中止はあり得るか。</p>
今井課長	<p>佐貫中、大貫中それぞれの条件整備を伺い可能な限り対応していく。</p>
保護者	<p>大貫との話し合いにおいて、大貫対佐貫となってしまう。学校名が「大貫中」となったとき、多数決では決めてほしくない。どちらの地域も同じ土俵に立てるルールを作してほしい。</p>
今井課長	<p>検討会議でお互いの考えを伝え合い決定していきたい。</p>
保護者	<p>9年間同じクラスで何がいけないのか。大きい方が切磋琢磨できるのであれば、今まで佐貫中を卒業した子はかわいそうなのか。数年前から1クラスだった佐貫中をどのように見てきたのか。各種大会で大きなところに負けていない佐貫中をどのように見ているのか。</p>
今井課長	<p>小規模の学校の生徒が頑張る姿は見てきている。伝統も理解している。優劣はつけていない。</p>
保護者	<p>クラス替えのない環境はよくないのか。卒業生は残念だったということか。</p>
今井課長	<p>私の子どもも佐貫中で1クラスの卒業生であった。しかし、今はさらに小さな集団となった。そこでもう少し大きな集団で交流させたい。今からの子どもによりよい教育環境を作りたい。</p>
保護者	<p>私は3クラスの中学校を卒業した。佐貫に来て、子どもがかわいそうだなと思った。しかし、通学させてみると先生もよく見てくれる、保護者のつながりもできる。よいところと思うようになった。</p>
保護者	<p>教職員数を減らすねらいはないか。クラス替えがないことを含め、9年間同じクラスでよいというアンケートをとり賛成が多ければ廃案となるのか。</p>
今井課長	<p>教員の数を減らすためではない。再度アンケートをとることはしない。例えば部の選択肢が増えることなどをよいと考える。</p>
保護者	<p>私は賛成派だが、疑問は晴らしていきたい。子どもにも賛成の子と反対の子がいる。</p>
今井課長	<p>疑問はできるだけ晴らしていくようにする。</p>

保護者	天羽中に4校集めてみてはどうか。
今井課長	交通事情等考え、市内3中学校で進めたい。利便性や安全性が高まればまた考えることもある。しかし、学区の広さを考慮すると3校で考えていく。
保護者	大貫との合同の説明会はあり得るのか。
今井課長	両地区の要望による。
能城部長	7. 閉会の言葉